

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	総合政策学部
大項目	9 教育研究等環境
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 多人数講義 (300人以上) の解消またはそれに替わる措置 (院生の張り付け等) を導入する	→多人数講義科目数、多人数講義において張りつけた院生数	B	B	B	B	/
2. 総合政策学科及び国際政策学科におけるゼミ室の設置またはそれに代わる共同ゼミ室を設置する	→ゼミ室等設置状況または検討状況	D	D	C	C	/
3. 2012年度中に無線LANの敷設を終了する	→無線LANの敷設の有無	B	B	B	A	/
4. 2号館2階の研究室スペースの有効活用策を策定し、整備を行う	→有効活用策検討状況および整備状況	D	D	C	B	/
5. 教員に対して外部資金導入を奨励する	→外部資金の獲得件数	B	B	B	B	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2012年度では、専任教員の授業担当授業時間は改善された。授業補佐等の数も増加している。一方で、多人数講義については、まだ完全には解消にいたっていない。2013年度から新しいカリキュラムに移行したので、改善が期待できる。
目標2	2013年4月に、神戸三田キャンパスにアクティブ・ラーニング・コモンズとしてAcademic Commonsが完成したため、現在、KSC1号館に生じた空きスペースを、総合政策学科と国際政策学科の共同ゼミ室として整備する予定である。2013年度秋学期には供用を開始する予定である。
目標3	現在、多くの教室で無線LANが使用できるようになる等、IT環境は大幅に改善された。
目標4	上記の目標2と関連するが、KSC2号館の2階スペースについては順次整備を進めており、すでに一部は演習教室として使用を始めている。
目標5	外部資金の導入であるが、2012年度に申請した文部省科学研究費8件のうち新規採用が4件あり、採択率は50%であった。いまだに十分とは言えない現状であるが、共同研究の体制を整備して、引き続き外部資金導入を図っていきたい。
備考	研究倫理の学部への浸透については、規程整備や研修会開催、学内審査機関設置等について、必ずしも十分とは言えない状況にあり、実現にむけて、更なる努力が必要であると思われる。

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【総合政策学部】			単位	2009	2010	2011	2012	2013	備考
指標1	教学補佐、実験実習補佐・教務補佐、授業補佐の採用数	教学補佐	人	9	14	13	13	10	他に、(2005、2006、2007、2008年度)契約助手1 (2009、2010年度)契約助手2 (2011年度)契約助手1 (2012、2013年度)契約助手2
		実験実習指導補佐・教務補佐	人	7	7	9	9	9	
		授業補佐	人	49	53	49	63	88	
指標2	専任教員の担当授業時間(平均)	教授	時間	11.7	12.6	13.3	11.2	10.1	45分をもって1時間に換算
		准教授	時間	11.2	11.3	10.8	11.2	11.0	
		講師	時間	8.5	8.3	9.3	9.0	9.8	
		助教	時間	—	—	—	—	—	